

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「IとKとI」

テーマ：「大人しいのに、蠱惑的な美少女」

キャラクター

55

ストーリー

50

テーマ(設定)

55

文章力

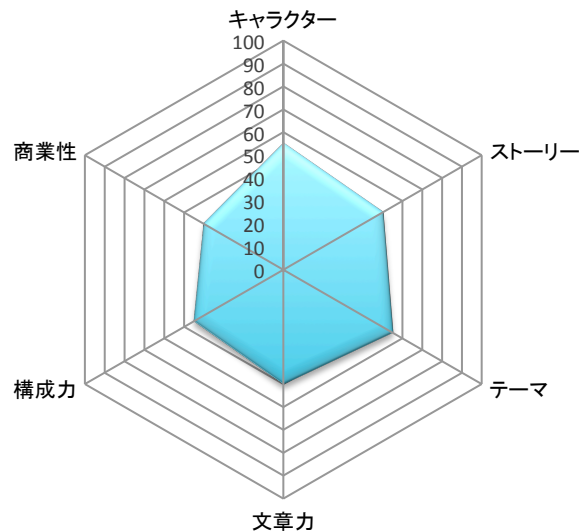
50

構成力

45

商業性

40



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ！」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

「俺の名を、とりあえず『稲葉』としておくことにする。他の人物も全て仮名だ。この話の満中に居る警部補に関しては、Kさんと呼ぶことにする。」→この文を一番最初に持って来た方が面白かつ分かり易かったのではないかと(なぜ「とりあえず稲葉」って名前を隠す必要があるんだろう？ Kって？ といった読み手を引き込む力がある) 現在のままだと「稲葉」「僕」「K」「彼の隣の運転席の人」などの言葉が飛び交い、一体誰がどこで何をしているのかが分からないし、何が面白いのか分からない。殺伐とした雰囲気を読み手が逃がしてしまっているならまだしも、描写が分かりにくいと思わせてしまったせいで読み手を逃がしてしまうのはもったいない。

「ッ……！！」「だよ！！」といった表現はラブコメ的な雰囲気での面白さを生む。一般文芸では「ただ……」これだけにして、「ッ……！！」が含むニュアンスは地の文で表現した方が良く思われる。

ストーリーラインは賛否両論がつくものと思われるが(特にラストシーンの打ち切り感か？)、個人的には非常に面白かったと感じる。一般文芸式ながら藍という美少女にインパクトを感じることができ、ライトノベルとはまた違ったエンターテインメント性を感じることができた。疑似親子という少し押し付けがましい関係の危うさをこうして巧みに表現することはラブコメでは難しいので、非常に新鮮さもあり読んでいてどんどん引き込まれる感覚がした。

合計加点ポイント 0

総得点： 295 / 600

B方式総合得点： 14504 点